

【 教職課程 】

【 教科および教科の指導法に関する科目 】

・ソルフェージュ、 声楽、 器楽、 指揮法、 音楽理論・作曲法

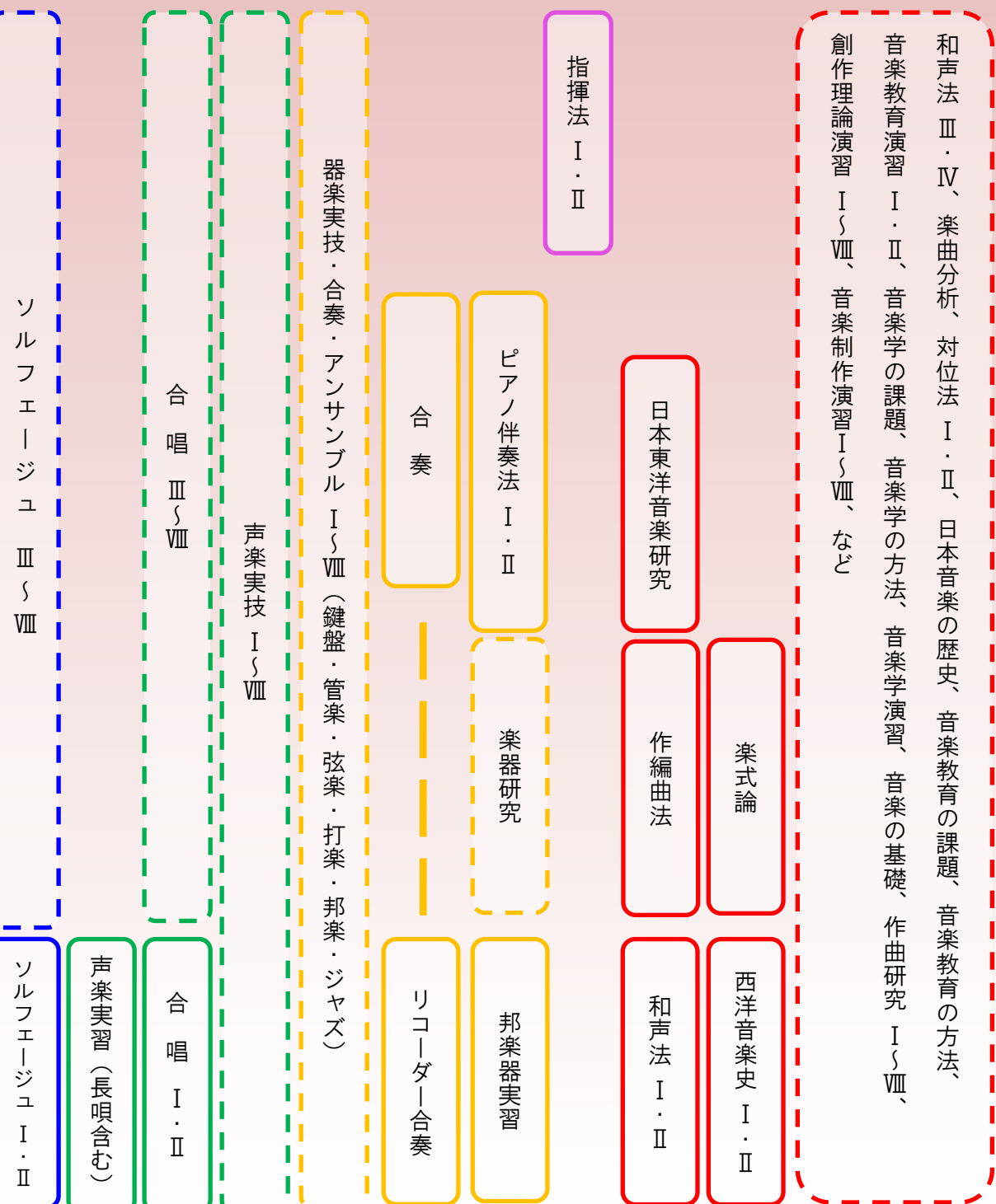
各教科の
指導法

4
年
次

3
年
次

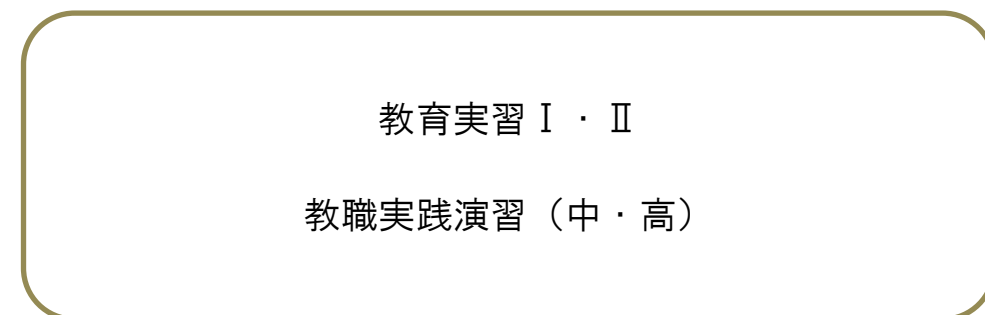
2
年
次

1
年
次

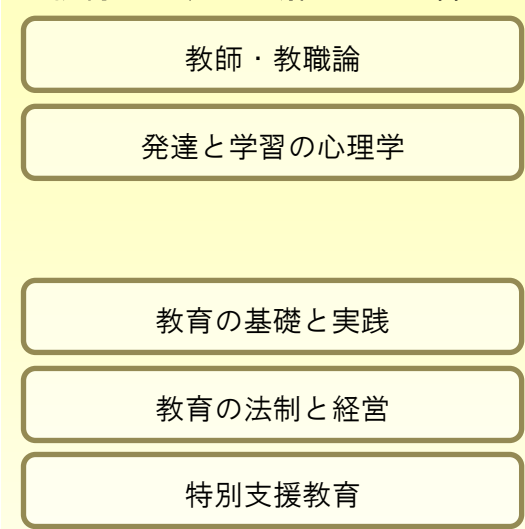


【 教育の基礎的理解に関する科目等 】

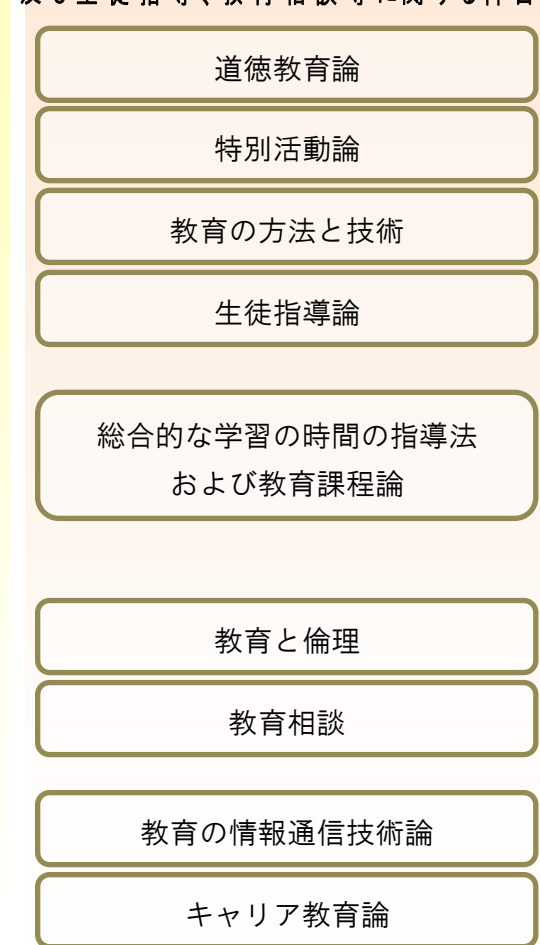
＜教育実践に関する科目＞



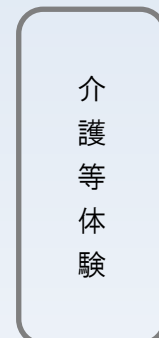
＜教育の基礎的理解に関する科目＞



＜道徳、総合的な学習の時間等の指導法
及び生徒指導、教育相談等に関する科目＞



＜介護等体験＞



＜施行規則 66 条の 6 に定める科目＞



1. 教員養成の目標

「高度な専門性を有し、音楽の普及と発展に貢献する使命を自らに任じ、社会に実りと潤いをもたらす音楽を目標とし、且つ手段として用いながら教育に携わる人材の育成を目指します。教育に対する明確な目標を個人の中に確立し、それを貫く強さを育みます。」

2. 音楽学部音楽学科が目指す教師像

建学の精神である親鸞聖人の同朋和敬の精神、「共なるいのちを生きる」に基づき、音楽を用いてお互いの差異を認めつつ、協和する方法を探し、提案できる教師を目指します。そのために、一、生徒個々の主体性を尊重しつつ、個人相互の関係を調整するために、教員が身につけた音楽的知識や技術が役立つように、音楽を「手段として」駆使できること、二、共に学ぶ仲間の可能性を認めつつ、人と人をつなぐ絆を提供できるような音楽を「目標として」設定できること、この二つを可能にする教員の養成を目指します